

元気なBABY

元気なBABY大募集!

お申込みはこちらから↓



☎ 72-3750

Eメール

ph.pr@city.miyakojima.lg.jp



こうとく
根間 康徳 くん
H29.2.7 生・平良
父：拓也 母：幸恵



なな
宮国 奈菜 ちゃん
H30.7.29 生・伊良部
父：希望 母：由美



あきと
下地 将叶 くん
H30.3.6 生・平良
母：梓穂



さや
川満 羽桜 ちゃん
H30.9.19 生・平良
父：一志 母：久美子



はる
砂川 陽 くん
H31.4.9 生・平良
父：諒 母：真美



ことな
平良 心都奈 ちゃん
H30.1.27 生・平良
父：陽介 母：真理恵



あやと
下地 彪斗 くん (左)
H28.5.25 生・平良
ぜん
全 くん (右)
H30.1.23 生・平良
父：市朗 母：愛美

宮古島史跡探訪②

ドイツ皇帝博愛記念碑



生涯学習振興課
文化財係
☎ 77-4946

宮古島市役所平良庁舎前の交差点を平良港方面へ50メートル程進み、左側の脇道へ20メートル程入った場所に沖縄県指定史跡『ドイツ皇帝博愛記念碑』が建立されています。1873(明治6)年6月、中国福州からオーストラリアへ向けて出港したドイツの商船ロベルトソン号は、台風に遭遇し宮古島の南海岸(宮国村穴川沖合といわれている)の大干瀬に座礁しました。これを発見した宮国村の人々は

危険を冒して救助活動を行い、8名の船員を助け出し、34日間に及び手厚く介抱した後、船を与えて帰国させたといわれています。ロベルトソン号の船長を務めていたエドワルド・ヘルンツハイム船長は大変感謝し、帰国後にこの事件をドイツ帝国に報告しました。報告を聞いた当時のドイツ皇帝ウイルヘルム一世はいたく感激し、宮古島の人々の勇気と博愛の精神を讃えたいと考え、1876(明治9)年に軍艦チクロープ号を宮古島に派遣してこの記念碑を建立させたとされています。

記念碑には表の上段にはドイツ語、下段と裏面には中国語で遭難や救助活動のことが刻字されています。



宮古島市ホームページ
<https://www.city.miyakojima.lg.jp/>



宮古島市勢要覧
～見てわかる宮古島～
<http://www.city.miyakojima.lg.jp/gyosei/mayor/oshirase/shiseiyouran2016.html>



ふるさと納税特設サイト
<http://www.miyakojima-furusato.com/?20161017>